

2019年3月期第1四半期 決算補足説明資料

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2018年8月1日

<http://www.keikyu.co.jp/>



KEIKYU
京急グループ

- ◆ 不動産事業において分譲マンションの売上計上があったことにより増収
- ◆ 前年同期に計上した分譲土地におけるたな卸資産評価損の反動があり増益

(単位：百万円)

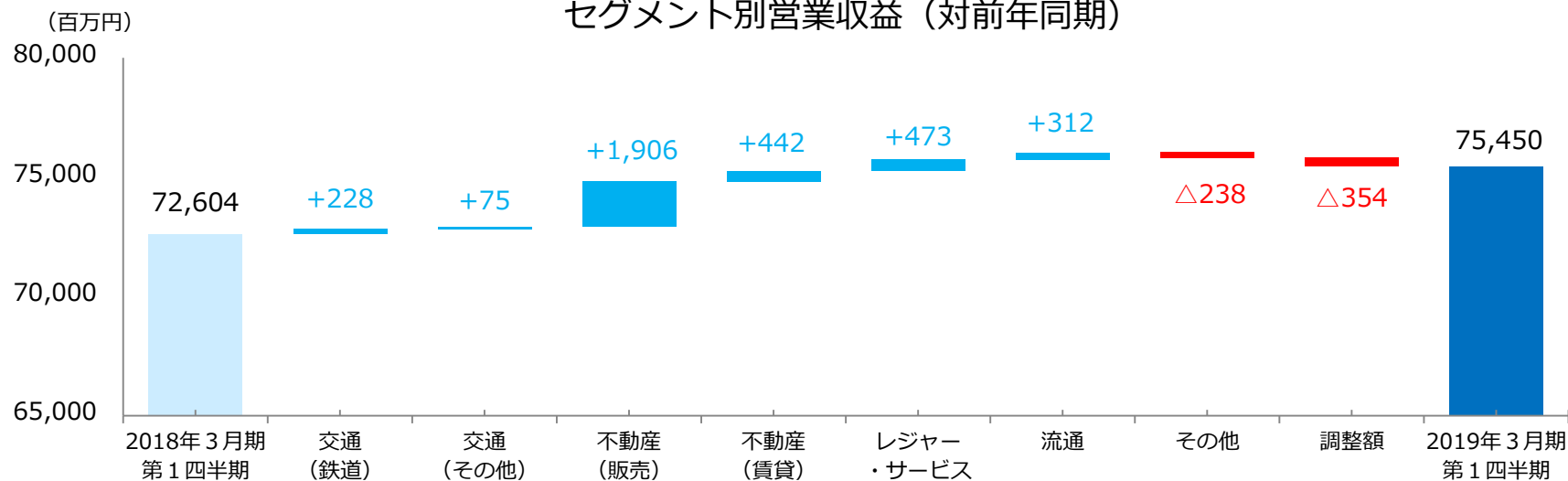
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率(%)
営業収益	72,604	75,450	2,845	3.9
営業利益	7,401	8,733	1,331	18.0
経常利益	7,197	8,362	1,164	16.2
特別利益	156	607	450	287.6
特別損失	156	806	650	414.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,674	5,588	913	19.6

(単位：百万円)

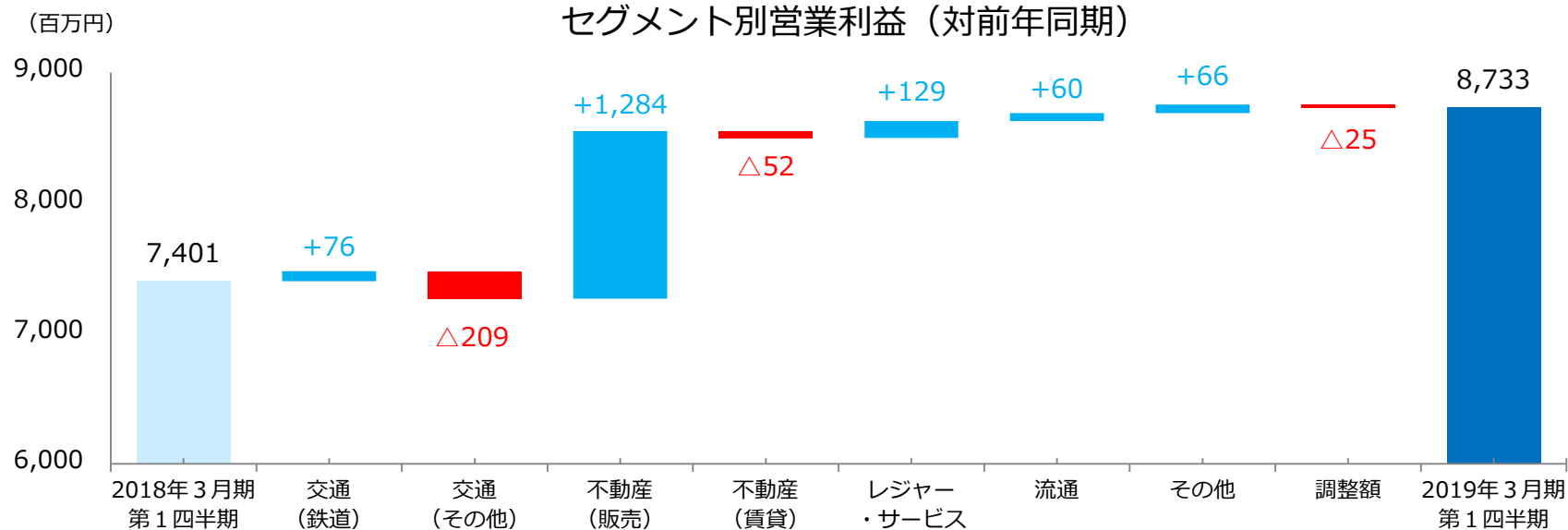
		2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
交通事業	営業収益	30,908	31,212	304	1.0
	営業利益	5,611	5,479	△132	△2.4
不動産事業	営業収益	7,696	10,045	2,348	30.5
	営業利益	△188	1,044	1,232	—
レジャー・サービス事業	営業収益	8,368	8,842	473	5.7
	営業利益	1,485	1,614	129	8.7
流通事業	営業収益	26,108	26,420	312	1.2
	営業利益	554	615	60	10.9
その他	営業収益	8,363	8,125	△238	△2.8
	営業利益	△71	△4	66	—
合計	営業収益	81,445	84,646	3,200	3.9
	営業利益	7,392	8,749	1,356	18.4
調整額	営業収益	△8,840	△9,195	△354	—
	営業利益	8	△16	△25	—
四半期連結 損益計算書計上額	営業収益	72,604	75,450	2,845	3.9
	営業利益	7,401	8,733	1,331	18.0

(参考) セグメント別営業収益・営業利益の増減

セグメント別営業収益 (対前年同期)



セグメント別営業利益 (対前年同期)



- ◆ 鉄道事業は都心方面および羽田空港の輸送人員の増加などにより、引き続き好調に推移
- ◆ 動力費・燃料費等営業費の増加などにより減益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
交通事業計	30,908	31,212	304	1.0	5,611	5,479	△132	△2.4
鉄道事業	21,236	21,464	228	1.1	4,837	4,913	76	1.6
バス事業	8,572	8,657	84	1.0	800	581	△218	△27.3
タクシー事業	1,098	1,089	△9	△0.9	△25	△16	8	—

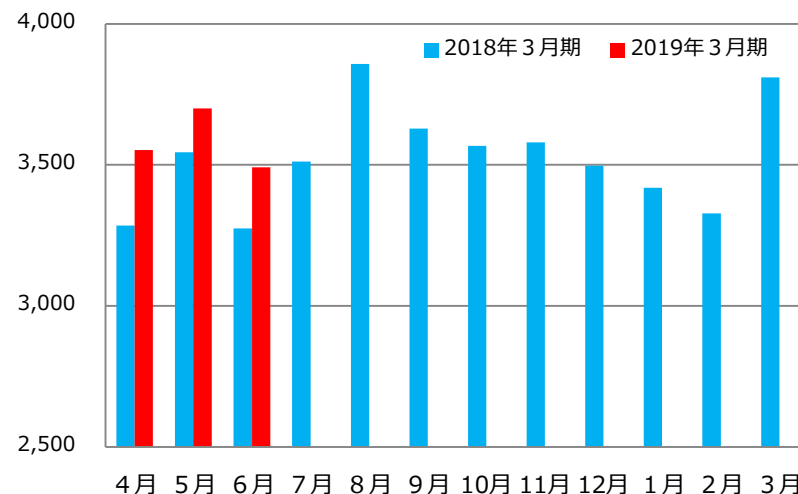
<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

		輸送人員 (千人)				旅客運輸収入 (百万円)			
		2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減	増減率 (%)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
定	期	67,965	68,873	908	1.3	8,009	8,108	99	1.2
	期外	52,779	53,588	809	1.5	12,368	12,595	226	1.8
合	計	120,744	122,461	1,717	1.4	20,378	20,704	326	1.6

<羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

		輸送人員 (千人)			
		2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減	増減率 (%)
定	期	1,760	1,924	164	9.3
	期外	8,345	8,820	475	5.7
合	計	10,105	10,744	639	6.3

羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の月別輸送人員推移 (千人)



- ◆ 分譲マンションの売上計上および前期に取得した賃貸オフィスビルの通期稼働などにより増収
- ◆ たな卸資産評価損の反動があり損益改善

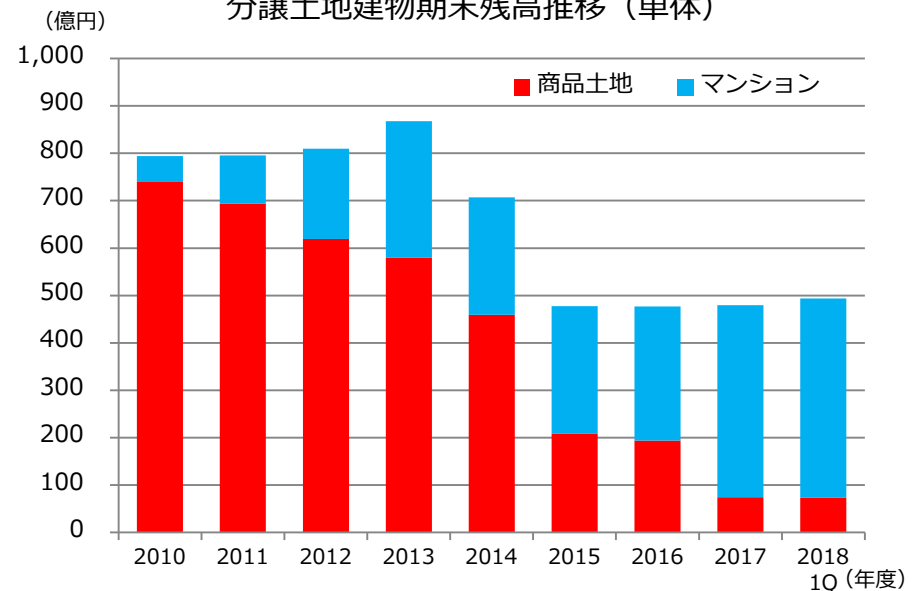
(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
不動産事業計	7,696	10,045	2,348	30.5	△188	1,044	1,232	—
不動産販売業	3,071	4,978	1,906	62.1	△1,560	△275	1,284	—
不動産賃貸業	4,625	5,067	442	9.6	1,372	1,320	△52	△3.8

マンション、宅地・戸建て 販売戸数 (単位：戸)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減
マンション分譲	47	259	212
(持分換算後)	26	69	43
宅地・戸建て	31	8	△23

分譲土地建物期末残高推移 (単体)



◆ ビジネスホテル業において前期に開業した新館が通期稼働したことおよび各館が好調に推移したことにより増収増益

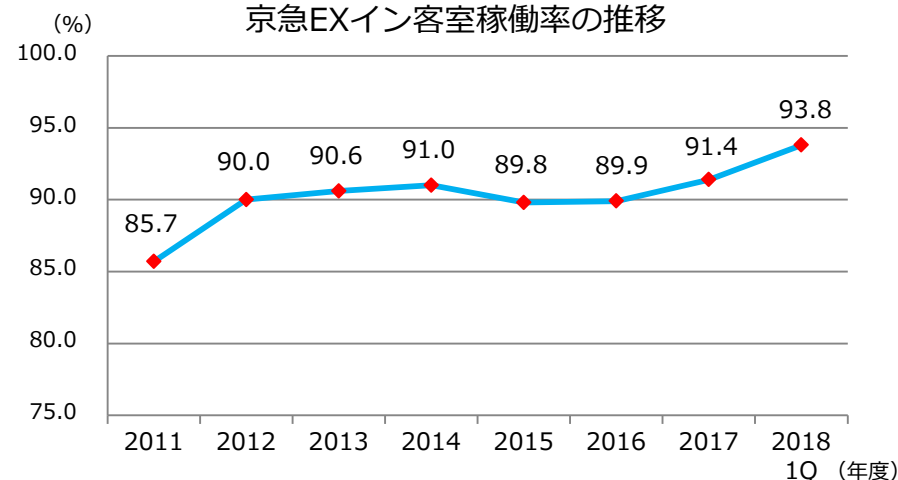
(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
レジャー・サービス事業計	8,368	8,842	473	5.7	1,485	1,614	129	8.7
ビジネスホテル業	2,353	2,707	354	15.1	706	773	67	9.5
レジャー関連施設業	2,976	3,017	40	1.4	461	452	△8	△1.9
レジャーその他	3,038	3,117	78	2.6	318	389	70	22.3

京急EXイン客室稼働率

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減
客室稼働率	92.9%	93.8%	0.9pt

京急EXイン客室稼働率の推移



- ◆ 物品販売業において(株)セブン-イレブン・ジャパンと提携した駅構内店舗が引き続き好調に推移したことや、ストア業において前期に店舗の閉鎖があったものの新規店舗の通期稼働により増収増益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
流通事業計	26,108	26,420	312	1.2	554	615	60	10.9
百貨店業	7,909	7,922	12	0.2	41	31	△10	△24.3
ストア業	13,197	13,236	39	0.3	87	130	43	49.7
物品販売業	4,133	4,459	325	7.9	268	371	102	38.3
流通その他	867	801	△65	△7.6	157	82	△75	△47.9

- ◆ (株)京急ファインテックの事業移管などにより減収となったが、利益率の改善により損失が縮小

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
その他計	8,363	8,125	△238	△2.8	△71	△4	66	—

(単位：百万円)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	増減率(%)
営業利益	7,401	8,733	1,331	18.0
営業外収益	1,081	806	△274	△25.4
受取利息	22	18	△4	△20.3
受取配当金	473	437	△35	△7.5
持分法による投資利益	179	191	11	6.6
その他	405	159	△246	△60.7
営業外費用	1,285	1,177	△108	△8.4
支払利息	1,117	1,116	△0	△0.1
その他	167	60	△107	△64.0
経常利益	7,197	8,362	1,164	16.2
特別利益	156	607	450	287.6
工事負担金等受入額	156	467	310	198.4
その他	—	139	139	—
特別損失	156	806	650	414.7
固定資産圧縮損	156	467	310	198.4
投資有価証券評価損	—	317	317	—
その他	—	22	22	—
税金等調整前四半期純利益	7,197	8,163	965	13.4

(単位：百万円)

		2018年3月期末	2019年3月期 第1四半期末	増減額
流動資産	流動資産	128,189	125,820	△2,369
	受取手形及び売掛金	15,303	10,503	△4,799
	分譲土地建物	59,304	61,573	2,269
	固定資産	748,489	750,006	1,517
	有形固定資産	614,968	613,272	△1,696
	投資その他の資産	125,799	129,319	3,519
	投資有価証券	71,370	74,213	2,843
資産合計		876,679	875,826	△852
負債合計		623,314	616,722	△6,591
	有利子負債残高※	438,576	436,709	△1,867
純資産合計		253,365	259,104	5,739
負債純資産合計		876,679	875,826	△852

※社債、借入金、CPの合計額

純有利子負債残高	394,714	393,369	△1,344
----------	---------	---------	--------

「2019年3月期 業績予想」は5月に公表した業績予想から変更がないため、「2018年3月期決算補足説明資料」（2018年5月9日公表）の業績予想を再掲しております。

- ◆ 不動産事業や交通事業などが堅調に推移し、増収を予想
- ◆ 前期に計上した分譲土地におけるたな卸資産評価損の反動もあり増益を予想

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率(%)
営業収益	3,156	3,370	213	6.8
営業利益	294	360	65	22.1
経常利益	272	325	52	19.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	161	220	58	36.2
設備投資額※	818	740	△78	△9.6
減価償却費	295	307	12	4.3

※ 工事負担金等（2018年3月期：54億円、2019年3月期（予想）：96億円）を含んでおります。

1株当たり 当期純利益※	58.66円	79.89円
-----------------	--------	--------

（単位：億円）

		2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率 (%)
交通事業	営業収益	1,234	1,241	6	0.5
	営業利益	201	190	△11	△5.9
不動産事業	営業収益	470	666	195	41.6
	営業利益	△16	66	82	—
レジャー・サービス事業	営業収益	355	359	3	0.9
	営業利益	56	58	1	3.3
流通事業	営業収益	1,076	1,082	5	0.6
	営業利益	26	25	△1	△4.7
その他	営業収益	549	548	△1	△0.2
	営業利益	33	26	△7	△22.6
合計	営業収益	3,686	3,896	209	5.7
	営業利益	301	365	63	21.2
調整額	営業収益	△529	△526	3	—
	営業利益	△6	△5	1	—
連結損益計算書 計上額	営業収益	3,156	3,370	213	6.8
	営業利益	294	360	65	22.1

- ◆ 鉄道事業・バス事業ともに輸送人員の増加により増収
- ◆ 動力費・燃料費等営業費の増加などにより減益

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
交通事業計	1,234	1,241	6	201	190	△11
鉄道事業	850	852	1	178	174	△3
バス事業	339	342	3	23	15	△7
タクシー事業	44	45	1	0	0	0

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

	輸送人員（百万人）				旅客運輸収入（億円）			
	2018年3月期	2019年3月期	増減	増減率（%）	2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率（%）
定期	263	265	1	0.6	315	315	0	0.2
定期外	212	214	1	0.8	500	505	4	1.0
合計	476	480	3	0.7	816	821	5	0.7

<羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

	輸送人員（百万人）			
	2018年3月期	2019年3月期	増減	増減率（%）
定期	7	7	0	0.0
定期外	35	36	0	2.4
合計	42	43	0	2.0

- ◆ 大規模分譲マンションの売上計上や賃貸オフィスビルの通期稼働などにより増収
- ◆ 賃貸業において一時的な費用計上があるものの、たな卸資産評価損の反動もあり増益

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
不動産事業計	470	666	195	△16	66	82
不動産販売業	275	462	186	△70	30	100
不動産賃貸業	194	203	9	53	35	△18

- ◆ ビジネスホテル業において新館が通期稼働および前期並みの稼働率を見込み増収増益

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
レジャー・サービス事業計	355	359	3	56	58	1
ビジネスホテル業	96	103	7	23	25	2
レジャー関連施設業	121	123	1	17	17	△0
レジャーその他	137	132	△5	14	14	△0

- ◆ 百貨店業において店舗入れ替えや専門店の外部出店などにより増収
- ◆ 流通その他における店舗の耐震補強工事による営業休止などにより減益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
流通事業計	1,076	1,082	5	26	25	△1
百貨店業	334	346	11	4	6	2
ストア業	534	531	△3	3	3	0
物品販売業	171	170	△0	12	11	△0
流通その他	35	34	△1	5	2	△2

- ◆ 建設工事等の減少により減収減益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
その他計	549	548	△1	33	26	△7

KEIKYU

京急グループ

【ご注意】

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。